

日時：平成 26 年 4 月 9 日（水）19 時～21 時迄

場所：わかば病院 4 階会議室

出席理事：山根、深町、田村、谷津、石井、大谷、斎藤（孝）、斉藤（勝）、高田、高橋、  
角田、中西、中山、松本、八木原

部会：

監事：高橋（委任）

[議題]

会長報告

新年度第一回の理事会です。年度末にはお忙しい中ご協力をいただき、ありがとうございました。諸々議題はあると思いますが、任期満了まであと 1 年、先日の大雪で延期となつてしまった企画も含め、頑張っていきましょう。また、各自前年度の反省点も踏まえ、今年度もよろしくお祈いします。

事務局報告

年度末、3 月 31 日時点での会員数 238 名、賛助会員は 39 社となっております。総会誌の原稿では数字が違っていたため、訂正します。

平成 26 年度の年間予定表がおおよそ完成しました。7 月以降は関東臨床工学会の準備に向けて毎月の開催となりますが、ご了承願います。また、10 月のたより、11 月予定の合同勉強会は、中止とし、来年度の学術大会は 7 月の予定で再度変更します。

来月の総会において定款の変更箇所が数か所あり、現事務局の住所、役員の変更、就任、退任についてですが、定款の変更には会員の 5 分の 4 以上の議決がなければなりません。そのため、委任状のはがきを総会誌と同封して送付する予定ですが、委任状の回収状況によっては 5 月半ばに各施設へ fax での委任を促す予定です。委任状のはがきは 4 月 19 日までに、済生会病院（広報委員会）へ事務局が持っていく。

11 月の関東臨床工学会での前橋市民文化会館の施設使用料を、3 月 30 日に済ませてきました。料金は 396,080 円で、消費税 3% 上乗せ分約 1 万円浮く形となった。

臨床工学技士に関する施設実態調査 2013 が各施設へ送付されていることと思いますが、回収率 100% を目標としているため、まだ提出が済んでない施設の方がいましたら、お声掛けをお願いします。理事で可能な方は電話連絡をお願いします。

5 月 9 日より、宮城県仙台市にて開催される第 24 回日本臨床工学会に、山根会長と出席予定ですが、理事の方で参加できる方は参加をお願いします。

会計報告

現在決算報告のまとめ作業を行っております。各委員会・部会の方で本日予算の余りを持参していただけた方は、理事会終了後に提出をお願いいたします。

来年度の予算案について、関東臨床工学会開催は別会計で行う必要がある。収支報告では例年黒となっているが、先が読めない。口座は以前技士会で使用していた口座を使用する方向で動く予定である。

#### 大会準備報告

今後の各種申請作業に伴い、本日の理事会でプログラムをほぼ完成させたい。ミニセミナーについては、3つから1つに絞る。時間帯は午後が望ましいか。

演題の時間割り振りは再検討する必要あり。午後の演題を7えんだいから5演題へ減らす可能性あり。

シンポジウムについて、参加予定であった方が3月で埼玉県施設へ転勤となった。その為、群馬県の会員ではあるが、施設名が埼玉の施設となってしまう。この点については本人に確認の上、決定したい。

ホームページ担当より、会長原稿のアップが今月中に可能との事。情報更新は順次行っていくため、原稿ができ次第、HP担当へ掲載を依頼する。

会場の見取り図については、別途資料参照。一階の小展示ホールが当日別のイベントで使用できないため、当日はその点に配慮する必要がある。また、3階第2リハーサル室、4階第1会議室も同様に他のイベントで使用予定。

#### 広報委員会報告

今月中に総会誌を発送したい。会計の谷津氏の報告が4月18日までに出る予定なので、全ての原稿が揃い次第、4月21日以降に印刷、発送は4月28日を目標としている。その為事務局にてラベル、総会の委任状のハガキの準備をお願いしたい。

総会誌の表紙並びに議案項目を本日中に決定したい。今回で会誌は19号となる。

定款変更（案）については、今回は総会前のため議案として会誌に掲載し、総会終了後に定款として掲載する。

#### 組織検討委員会

来月の市民公開講座のポスター作成中ですが、デザインがほぼ決定したため、明日以降に理事MLにてポスターの確認をお願いしたい。当日は15:00~16:00の予定で決定した。

#### 学術委員会報告

今年度は合同勉強会が2回。10月の合同勉強会を関東臨床工学会の準備としたいため、このスケジュールでお願いしたい。

#### 安全対策委員会報告

昨年度、2月の合同勉強会が大雪で中止となったため、その振替分を6月29日（日）に予定している。会場は心臓血管センターで、内容は前回と同じ内容で行う予定。

#### 循環・呼吸器部会

安全対策委員会同様、2月に中止となった合同勉強会の振替分を6月29日に行う予定。内容は血液ガスとグラフィックモニターについてですので、新人の方は是非参加をお願いします。

#### 代謝・保守部会

来年（2015年）の1月下旬～2月中旬に合同勉強会を計画中。詳細は秋には決まる予定だが、秋のたよりが今年は発行予定でないため、別の手段で勉強会のアナウンスを行うかもしれない。

学術委員長より、合同勉強会の名称を変更してみてもとの意見もあり、今後はアドバンスセミナーと名称変更したい。

#### Y・ボード報告

2月に中止となった第3回合同勉強会の振替分を別枠で検討させていただきたい。真冬での開催は厳しいと思われるため、夏から秋にかけてか？

文化厚生委員会とY・ボードについて、Y・ボードは日本臨床工学技士会からの依頼で設立されたものであり、群馬県臨床工学技士会として設立されているものは文化厚生委員会である。その為、総会の報告では文化厚生委員会の中のY・ボードとしたい。

#### その他

第5回関東臨床工学会でのランチョンセミナーの協賛企業がほぼ決定した。1口5万円で募集したところ、東レ2口、ニプロ2口、旭化成メディカル1口、アムテック1口で、合計30万円はほぼ確定した。東レについては現在増額交渉中である。

お弁当は400食＋ドリンクの消費税8%での見積りで、324,000円～520,000円の範囲内。関臨工総予算から弁当代へ配当できる金額を決めてから弁当を決定してはどうかとの意見もあり。

現時点での検討事項として、①協賛金の納付方法・納付時期について、②ランチョンセミナーのチラシを作成すべきか、その作成担当者をどうするか、③弁当配り係は受け付けも兼務で可能か、またその配置はどうするべきか。前回理事会での決定事項として、協賛企業は演壇後の垂れ幕に企業名を入れること、弁当配布時に資料配布を行うことがある。

ミャンマーの労働者病院への寄付について、日本臨床工学技士会の川崎会長より質疑への返答が来た。電圧の問題と電力事情については、現地の電圧が240Vであるため変圧器等の

セットが必要となるが、この点については外務省からの助成を申請している。  
現地で故障した場合の提供側の責任の所在については、基本的には受け入れ側に委ねられるが、病院対病院では PL 法外扱いとなる。  
同様の質問はまだ来ていない。

平成 26 年度新卒者臨床工学技士映像講習会の案内が届きました。参加できる方がいましたら、お願いいたします。

第 24 回日本臨床工学会開催前日に、関東臨床工学技士連絡協議会が仙台市にて開催されます。例年、関東臨床工学会開催県は多くの理事が出席していることもあり、参加できる理事の方は是非参加をお願いします。

市民文化会館大ホール・小ホールの座席表資料を基に、今後の理事会でホール内の仕切りの場所を決定したい。

新年度となったため、新規会員登録は書類が届き次第、順次行っていく。

来月の総会で、次期大会長を選出しなければならない。来年度の学術大会は 7 月を予定しているため、5 月の理事会で決定したい。

日時：平成 26 年 5 月 22 日（木）19 時～21 時迄

場所：わかば病院 4 階会議室

出席理事：山根、深町、田村、谷津、大谷、斉藤（勝）、高橋、角田、中嶋、中西、中山、  
松本、八木原

部会：

監事：高橋

[議題]

会長報告

先日、仙台で開催された日本臨床工学会へ参加してきた。また、関東臨床工学技士協議会  
会議、全国代表者意見交換会、総会と合わせて参加してきた。

関臨協では第 5 回大会のプレゼンを行い、第 6 回大会の東京都からのプレゼンもあった。

選挙対策についても、西の勢力が強いため、群馬からも代議員を出したいと思った。

連盟について、特定集中治療室管理料の算定に寄与していることもあり、会員数増に向け  
た動きが活発になってきている。連盟の関東ブロックからの役員選出は、これから行って  
いく予定。

代表者意見交換会について、法人移行に関する演題や、先遣隊に関する演題があった。

当会の登記について、平成 25 年 3 月分のものが先日受理された。しかし、今総会后、2 週  
間以内にまた新たな登記を行わなければならない。

施設調査アンケートは、全体で 60%を超える回収率となった。

事務局報告

本日までの会員数 249 名、賛助会員は 39 社となっている。去年年度末までに、当会から他  
県に移動していた方が 2 名いたことが判明したため、総会誌の原稿では数字が違っている  
ことから当日訂正のアナウンスを行う予定。また、そのうちの 1 名は手続きミスによるも  
のであることから、去年末に引き落とされた会費の返却も会計と相談し検討する。

賛助会員の陽進堂より、総会誌の賛助会員社名一覧が味の素のままであると指摘あり。総  
会でのアナウンスと、情報更新を早急に行う。事務局 PC では、バックアップデータ共に陽  
進堂へ変更済みであった。

先日の第 1 回関臨協会議において、第 5 回大会の準備報告を会長と行ってきた。次回会議  
は 11 月 8 日（土）を予定しており、関臨工前日に行う予定。理事で参加可能な方は参加を  
お願いしたい。

日本臨床工学技士連盟の肥田理事長より、関東ブロックからの連盟の理事 4 名を推薦して  
ほしいと連絡あり。関臨協の都県へは連絡済み。連絡が入り次第、選出者を決定していく。

総会の委任状の回収率が本日で 115 名。総会での定款の変更には 5 分の 4 以上の議決が必要であり、190 名分の委任状は確保したいが、出席者含めても 163 名。電話や fax での返信の連絡を再度進めていく。

JTB 東北より、先日の仙台での会議室使用請求書が届いたため、近日中に振り込みを行う。朝日新聞社出版誌「マリオン」、上毛新聞に、5 月 25 日の市民公開講座の内容が掲載された。問い合わせは予約確認と子連れ関係の 2 件のみであった。

日臨工への後援並びにポイント申請は、準備が整い次第行う。また、各都県へのシンポジストの依頼も再度促す。

演題登録は、メールにて応募が入り次第、西片貝クリニックへ流す予定。

理事の影山さんより、スタッフジャンパーのデザインについて、理事の皆さんの意見を伺いたいと連絡あり。色はオレンジ、文字は「一般社団法人群馬県臨床工学技士会」のみとし、今後のイベントで使い回しができるようにしてほしいとの声もあり。フォントについては何種類かのデザインの中から検討か。

#### 会計報告

今年度の各委員会・部会の予算、去年度の交通費の支払いを、本日理事会終了後に配布します。活動費に関して、予算案の出ていない部会については、昨年度と同じ金額とした。納税は来週中にできると思われる。総会の議案書については、監事の高橋さんより捺印が済んだため、完成した。

去年度の退会者に関しては、後日の懸案事項とさせていただきたい。

#### 大会準備報告

大会までもう半年を切りました。これからはペースを上げて取り組みをお願いしたい。演題募集も HP 上から行えるようになったが、群馬県内への募集をかけていないため、6 月上旬を目指してポスターとともに配布したい。

当県からのシンポジストは、阿部さんに依頼済み。

ミニセミナーについては、千明さんをお願いして体験型のものを取り入れるべきか、もしくはスマートフォンを利用したモニターを見る形のものにするか、腎移植コーディネーターの稲葉さんをお願いするか、今後の懸案事項である。

キッズセミナーについては、会場をけやき広場で行うか、今後の課題となる。

#### 広報委員会報告

第 5 回総会誌が完成した。事務局から報告のあった味の素→陽進堂への変更は、総会当日

に行う。

7月にたよりを発送予定のため、6月中にたよりの原稿を各自お願いしたい。

#### 組織検討委員会

5月25日（日）に、サンピアにて市民公開講座を予定している。開始前に「いのちのエンジニア」のDVDを上映予定。プロジェクター、スクリーンについては、サンピアのものを使用する。PP用のデータを預かった。（資料）

#### 学術委員会報告

特になし。

#### 安全対策委員会

年2回の合同勉強会を6月29日（日）に心臓血管センターにて開催予定。内容は冬に中止となってしまった分の振り替えで、血液製剤の安全性について行う予定。講師が変更になる。

#### 循環・呼吸器部会

6月29日（日）に、安全対策委員会と合同で勉強会を開催する予定。担当の中嶋さんと角田さんが当日勤務となってしまったため、理事の方で受付等手伝える方はお願いしたい。

#### 代謝・保守部会

特になし。

#### Y・ボード報告

6月21日（土）に東京の日臨工ビルにてハチドリネットワーク会議予定。

#### その他

次期大会長について、一般公募していないため、総会の時と県内への演題募集の際に会員向けに情報発信を行いたい。

総会の役割分担について、司会は八木原さん、開会の辞・閉会の辞は副会長が担当している為深町さん、議長は山根さん、書記は斎藤勝さん、議事録署名人は理事以外の方で決定とする。

技士会ホームページの更新について、更新作業がだいぶ遅延している。新たにホームページ部会を立ち上げる必要性が高い。次回理事会までに、臨時会議もしくは3役会議も必要かと思われる。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 37 回 理事会

平成 26 年 7 月 9 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・大谷・景山・斉藤（孝）・斉藤（勝）・高橋・  
角田・中嶋・中西・中野・八木原

監事：高橋

委任：石井、高田、中山、松本

欠席：

議事録

会長報告：

新年度になって活動も徐々に本格化してくる頃と思います。先日、腎臓病患者連絡協議会総会へ出席してきた。今後も継続して出席をする。

事務局報告：

日本臨床工学技士連盟からの依頼により、関東臨床工学技士協議会として関東ブロックから役員選出を行った。新役員の候補は神奈川県的小林会長、茨城県の上野現役員、東京都の関川現役員、埼玉県の下野現役員の 4 名であった。また、各都道府県に窓口担当を設置してほしいとの依頼もあり、連盟会員が 2 名の群馬県は田村が立候補した。

賛助会員 39 社に対し、関東臨床工学会の協賛依頼を行った。現時点では賛助会員ではないが、新潟県のカナイ医療器と川崎市の株式会社常光からも協賛についての問い合わせがあったため、同様に資料配布を行った。

演題募集に関して、新潟県の大学より生徒の発表を関東臨床工学会でお願いしたいと連絡あり。協議会からは反対意見は出なかったが、群馬県の対応方針に各都県とも従うとの事であった。同様の問い合わせが東京都の東京医薬専門学校からもあった。

各都県へのシンポジストの依頼は再度行ったが、未だ返答が得られていない。今月中での決定をしていただけるよう、再度アナウンスを続ける。

今週中に日本臨床工学技士会並びに群馬県職能団体への後援依頼を行う予定。

栃木県より座長依頼のアナウンスが来ていないとの連絡あり。準備が整い次第、各都県に依頼状を送付予定。

会計報告：

特になし。

大会報告：

昨年の栃木県の決算報告を参考に。

広報委員会：

たより新入会員紹介原稿について。

今後は申し込み順に会計書類に同封する。

たよりは今月中に発送予定。

組織検討委員会：

市民公開講座のアンケート結果が出た。たよりに掲載したいと思う。

学術委員会：

6月29日に第1回合同勉強会を開催した。循環器部会は12月に企画。3回目の合同勉強会は、血液浄化で年明けを予定。

安全対策委員会：

6月29日、血液製剤の安全性について勉強会を行った。参加者は技士22名、看護師3名、学生18名が参加。年明けにもう一度勉強会を企画したい。

循環・呼吸部会：

6月29日に安全対策委員会と合同で勉強会を開催した。収支上今回はプラスとなった。

代謝・保守部会：

1月末～2月上旬で勉強会を開催予定。安全対策委員会と合同で。

Y・ボード：

6月17日に第1回関東甲信越はちどりネットワーク会議に参加してきた。

その他：

ランチョンセミナーの進捗状況について。

協賛依頼について、趣意書に振込先の口座情報が無い。

司会担当について

キッズセミナーについて。申込制とする。

駐車場について。案内用のプラカードを作成。JR前橋駅構内にも設置か。

受付の人員は何名にするか。7名とする。

会員宛にボランティア募集を次回のたよりに掲載する。同時に、共催企業への労務提供依頼もかける。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 38 回 理事会

平成 26 年 8 月 20 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・石井・大谷・景山・斉藤（孝）・斉藤（勝）・  
高橋・角田・中嶋・中西・中野・中山・松本

監事：高橋（委任）

委任：高田、八木原

欠席：

議事録

会長報告：

勉強会等の立案もある中、理事会出席ありがとうございます。

本日の理事会は株式会社至誠堂の吉田氏も参加しております。理事会終了後、関東臨床工学会本会場、展示会場等見学予定となっております。

事務局報告：

7 月末日に発送したたよりに同封されていた労務提供依頼並びに大会運営スタッフ募集の案内について、送付状の FAX 番号に不備があった。近日中に訂正したものを各施設宛に送付予定。

日本臨床工学技士会並びに群馬県職能団体からの後援は、ほぼ承諾していただいた。

ポイント申請については、本日プログラムが完成次第、申請手続きを行う予定。現時点では血液浄化に特化した形での申請となるが、ほかにも取得可能か。

賛助会員に対しての共催依頼を行い、製品展示で 18 社、広告掲載で 11 社、寄付が 4 社集まった。また、労務提供依頼は現在 11 社より返答が得られている。今月末が締め切りのため、増員を目指したい。

演題査読に関して、埼玉県循環器系ディーラーより手伝えるかもしれないと情報あり。

日本臨床工学技士会より、利根中央病院の会員の方への所在不明通知あり。先日発送したたよりも病院宛としたが、返送されてしまった。

座長募集に関して、現在茨城県と栃木県より返答が得られている。東京、埼玉、千葉、神奈川については、アナウンスを行っていく。

シンポジスト募集に関して、各都県へは再再度アナウンスを行っているが、未だ返答が得られていない。

キッズセミナーでのぐんまちゃんマスコットの使用は、8月1日に申し込みを行ったが、キャンセル待ち2番手となってしまった。現時点では代替えとして、前橋市のころとんをレンタル予定。

#### 会計報告：

関東臨床工学会関係の入金が始まっている。たより広告書の入金もほぼ確認が取れた。

#### 大会報告：

当会ホームページについて株式会社クラールに見積りを取ったところ、おおよそ15～16万円かかる。再検討か。

輸液ポンプ、シリンジポンプに関するアンケート調査の結果をホームページ上へアップするか。原稿枚数が多くなるため、要検討。

日本臨床工学技士会からの功労者表彰に関して、渡辺前々会長で良いかと思うが、経歴が見当たらない。

#### 広報委員会：

たよりが7月中で発送できた。新入会員原稿について過去の抄録が必要。

#### 組織検討委員会：

たよりに市民公開講座のアンケート結果を掲載した。今後は養成校ともタググして取り組みを行いたい。

#### 学術委員会：

12月に循環器部会での勉強会を予定している。

#### 安全対策委員会：

前回は血液製剤関連の勉強会を行ったが、次回は年明けを予定している。内容については未定。

循環・呼吸部会：

12月7日にセミナーを予定。ポイント取得8単位を目標としている。デバイス関連については、現職の技士へ依頼予定。

代謝・保守部会：

年明けの1月～2月で勉強会を予定している。

Y・ボード：

関東臨床工学会でのキッズセミナーの内容について再検討。

その他：

演題数の変更。循環器を4から5へ。学生セッションを3から4へ。

会場は8時からでないといけない。その点を踏まえた準備を。

キッズセミナーポスターを9月下旬から10月初旬に、県内の幼稚園や保育園等に配布。私立幼稚園協会が前橋市にある為、そこへ一括でお願いするか。

お手伝いの最終人数を次回までに決定したい。

案内看板のプラカードは、5本から3本へ減とする。

会場内のPCについて、何台必要か。→7台。

休憩箇所にスターバックスのコーヒー400人分を設置。費用は80000円。

書籍物販については、前橋市とJTBより出展していただく。

ランチョンセミナーのお弁当は峠の釜めしに決定。不足が出た場合は、登利平で対応。配布方法については再検討が必要。

司会は小ホール・大ホールのみ。トータル6名を専任としたい。

演者の先生の謝礼金は、10万円ずつとする。

会誌について、県内は遅くとも10月上旬から中旬までには発送できるよう目指したい。その為、原稿締め切りは9月後半になる。

学術的な査読に関しては、日本臨床工学技士会へ確認を取る。

託児ルームについては、ホームページより申し込みができるようにする。

クロークはセレスポに頼む。

スタッフジャンパーについて、50枚で11万円ほど。

前日の懇親会は、前橋市の徳樹庵にて行う。おおよそ50名前後が参加予定。

演者、座長への謝礼について、USB か、SD カードか、充電器か、クオカードか。  
前橋市民文化会館の施設内見学。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 39 回 理事会

平成 26 年 9 月 10 日

出席理事：山根・深町・田村・谷津・石井・大谷・高田・高橋・角田・中嶋・中西・中山・  
松本

監事：高橋（委任）

委任：花田、影山、斉藤（孝）、斉藤（勝）、中野、八木原

欠席：

議事録

会長報告：

関東臨床工学会まであと 2 か月となりました。これから更にバタついてくるとは思いますが、至誠堂の吉田氏のサポートの元、理事の皆様も一層のご協力をお願いいたします。

日本臨床工学技士会からの功労者推薦に、初代佐藤会長、渡辺会長を推薦したが、人気の問題で佐藤初代会長は外されてしまった。

輸液ポンプの資料について公開できる形になったが、60～70 ページある為ホームページへ掲載したいと思う。

第 7 回クリティカルケア研究会より後援依頼あり。承認したいと思う。

事務局報告：

ポイント申請の返答待ち。恐らく全分野での 8 単位取得が可能となるはずだが。

関東臨床工学会の協賛企業が集まってきた。一次締め切りは過ぎたが、もう少々声掛けを行っていききたい。

会計報告：

今年度の年会費は 12 月に引き落とし予定。賛助会員については、10 月に行う。

大会の受付、会員の参加証について、ざっくり作っていただいた。本日検討したい。

大会報告：

来年度の大会長は田村氏に依頼。これから企画立案に取り組んでいただく。

7月が学術大会となる為、たよりの発送スケジュールを考え直す。

広報委員会：

抄録集の見積りが上がった。中身は白黒で、外観のみカラーではどうか。

後援団体の確認、実行委員の理事一覧等、名前の確認を。

組織検討委員会：

特になし。

学術委員会：

循環器部会の勉強会の名称変更は可能か。また、12月の勉強会はランチョンセミナー無しとし、昼食に関しては群馬大学構内で摂っていただく。現時点での技士からの演者は未定。参加費は安く抑えられると思われる。

演者のメーカーが謝礼を受け取ってくれない場合等は、A4広告1枚無償で掲載する形等で対応するので良いか。

日本臨床工学技士会への後援とポイント申請は、現在返答待ち。

安全対策委員会：

来年、代謝と合同で勉強会を企画。透析に関する安全対策の内容で行いたい。

循環・呼吸部会：

学術委員会の報告に同じ。

代謝・保守部会：

安全対策委員会の報告に同じ。

Y・ボード：

年明けに宿泊での研修会を企画中。宿泊先を現在選定中。

その他：

関東臨床工学会のスタッフ募集状況について。

日赤より 9 名、心血より 7 名、済生会より 7 名、大胡より 2 名、西片貝より 3 名、わかばより 3 名、小児より 3 名、高瀬より 4 名、新橋より 5 名、太田より 2 名。

学術大会グッズについて。

東京医薬専門学校のバス来場について。

会場内の案内看板について。

会誌の締め切りについて。

当日のスタッフ用駐車場にわかば病院駐車場を使用する件について。

企業展示のスタッフのネームプレートについて。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 40 回 理事会

平成 26 年 10 月 9 日

出席理事：山根・深町・田村・谷津・石井・大谷・高田・高橋・角田・松本・八木原

監事：高橋

委任：花田、影山、斉藤（孝）、斉藤（勝）、中嶋、中西、中野、中山

欠席：

議事録

会長報告：

関東臨床工学会開催まであと一か月となったが、準備の揃っていない部門については詰めて作業に取り組んでもらいたい。また、時期的にインフルエンザも流行してくると思われる。体調管理は万全にお願いしたい。

先日の地震でも、この付近は大きな被害が無く過ごせた。噴火に関しても、この辺は特に被害無く過ごせた。

事務局報告：

先日、当会の新しいホームページが稼働。修正箇所や追加情報等は、今後の課題。

2015 年の技士会年間スケジュールを作成したが、たよりの発送時期、勉強会次期等確認をお願いしたい。

次期学術大会に関して、会場がビエント高崎と前橋商工会議所で 7 月に空きがある。他会場はほぼすべて不可。来月までに決定させたい。

たよりのスケジュール通り、年末から年明けにかけて各募集を開始予定。大会テーマについては未定。ポイント取得はプログラム案ができ次第、後援と同時に申請予定。

関東臨床工学会の協賛企業はすべて締め切った。製品展示で 26 社、広告掲載 17 社、寄付 6 社、ランチョン共催 5 社、労務提供 18 社となった。振込の済んでいない企業へは、随時督促予定。

9 月 15 日、第 2 回関東臨床工学技士協議会会議を神奈川県小林会長の依頼で急遽東京にて開催した。内容は、日本臨床工学技士会における第 3 期内部理事選出選挙について関東の意見を取りまとめることを目的としたものであった。

本会議での決定事項として、関東ブロックからの協議会の推薦者は、関東臨床工学技士協議会の選出規定に則る人物とすること。関東ブロックからの推薦者は 8 名とし、他県との共闘に努めること。

11 月 8 日に開催予定の第 3 回関東臨床工学技士協議会会議でも同様の内容についての議題がある為、是非当会からも参加をお願いしたい。

上記会議において、日本臨床工学技士会より川崎会長、那須野専務理事が出席予定。本間副会長と金子理事については現時点で返答未。

関東臨床工学会開催中に、日本臨床工学技士連盟の肥田理事長よりアナウンスの時間を設けてもらいたいと問い合わせあり。

東京医薬専門学校の大型バスでの来場について、TV 中継車専用駐車場に駐車可能となった。バス会社、学校双方へは連絡済み。

太田医療専門学校と東京医薬専門学校については、学生の団体参加であることから事前登録制を設けられればと思う。

託児所について、現在申し込みの連絡があったのが東京都の方のみ。もし預ける方がいたらお早めに連絡を。

機器展示に関して、大展示ルームに配置図を作成した。

広告掲載に関しては、若いページから申し込み順に掲載予定。

本学会終了後、日本臨床工学技士会会誌へ学会概要を掲載していただくため、内容を日本臨床工学技士会へ報告予定。

#### 会計報告：

関東臨床工学会での協賛金について、現時点で 80 万円。すべてそろえば 183 万円になるはずだが、入金システムで社名等が長文になる場所は振込もとがわからない。

当日の参加証と領収書はほぼ完成した。

#### 大会報告：

予算修正案について、寄付は 26 口となった。

キッズセミナーのポスターに不備が見つかった。刷り直しで少々費用が発生する。

抄録印刷が部数変更のため 38 万円より増える。事務局より追加分は負担。

大会協力スタッフが現時点でメーカーの労務提供込みで 70 名を超えている。

大会ポスターの配布は、各都県技士会事務局へ。

大ホールの撤収作業に伴い、時間を 1 時間延長した。

大会協力スタッフの割り振りを本日举行う。

演題は全分野で 28 演目。連盟のプレゼンもプログラムに組み込む。

広報委員会：

抄録集（案）が刷り上った。表紙は富岡製糸、ラフティング、ぐんまちゃんも掲載済み。修正が多少あるかと思うが、随時連絡をお願いしたい。抄録集 700 冊の見積りで出したが、不足が出ないよう 800 に増刷する。

発送まで多少の時間がある為、同封するものは広報へ連絡を。

組織検討委員会：

年明けでの活動を予定。Y・ボードと合同で行うか。

学術委員会：

大会報告がメインのため、特になし。

安全対策委員会：

年明けにポイント取得可能なセミナーを、血液浄化分野で検討中。日程は 1 月 25 日。

循環・呼吸部会：

12 月 7 日の勉強会のお知らせを抄録集と同封したい。

代謝・保守部会：

1 月 25 日に安全対策委員会と合同でセミナーを予定。案内は別口で年内発送を予定している。

Y・ボード：

特になし。

その他：

メーカーからの協賛金について、日成メディカルから寄付 1 口の予定が 2 口分入金されて

いる。後日、事務局より確認を。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 41 回 理事会

平成 26 年 11 月 6 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・大谷・斉藤（考）・斉藤（勝）・高田・高橋・角田・  
中嶋・中西・中山・松本・八木原

監事：高橋

委任：谷津、石井、影山、中野

欠席：

議事録

会長報告：

皆様のおかげで、無事に会誌・抄録集の発送も行うことができました。

来月も勉強会等ありますが、今月はクリティカル研究会もある。

関東臨床工学会へは、来賓として渡邊前々会長、佐藤会長に招待状を出した。

事務局報告：

小野薬品工業が平成 24 年度での退会の意向を示していたことが判明。前回理事会後にその内容が発覚したため、その時点で退会扱いとさせていただいた。

今回の学会終了後に、当会の名簿の一斉更新作業を予定している。

会長からの理事 ML にて、ホームページ上での求人広告が可能となっている。まずは理事の施設での運用を考えているため、求人広告掲載の場合は至誠堂の小林氏へ連絡を。

日本臨床工学技士会を退会した会員の連絡が 1 名あったが、当会へは退会連絡が届いていない。この場合、当会としては退会の扱いでなくとも良いか。

11 月 22 日、埼玉県臨床工学技士会公益法人化祝賀会が浦和にて開催予定。会長と出席予定。祝い金 1 万円を振り込み。

会計報告：

特に無し。

大会報告：

スタッフマニュアルの配布。前日準備から当日まで、流れを把握しておくように。

キッズセミナー使用物品等に関して。

抄録集の正誤表に関して。大会当日にアナウンスをかける。

展示企業 2 社追加。抄録集には掲載不可。

学生発表の演者変更。大会当日にアナウンスを。

協議会会議参加者へ、けやきウォークのモール東出入り口から入場してもらうよう、案内を流す。入り口付近に労務提供のメーカー人員を配置する。

キッズセミナーのチラシについて、配布に時間的猶予が無かったため理事の施設に印刷分を振り分けた。

東京都の方から申し込みのあった託児ルームは、急きょキャンセルとなった。

前日懇親会の参加者が現時点で 50 名前後。理事で参加予定の方は本日中に担当者へ連絡を。

東京医薬専門学校が団体参加のため、事前に登録用紙を配布した。

広報委員会：

たよりスケジュールの再編を行いたい。新年号の原稿は 12 月 15 日までにお願いします。7 月が当会の学術大会となる為、新年号で諸々の募集を行いたい。

組織検討委員会：

特になし。

学術委員会：

12 月 7 日に循環器セミナーを予定。ホームページへも掲載済み。

安全対策委員会：

1 月 25 日に代謝と合同でセミナーを予定している。

循環・呼吸部会：

12 月 7 日のセミナーについて、ペラのチラシを関東臨床工学会で配布予定。

代謝・保守部会：

1月25日にセミナーを予定。

Y・ボード：

11月9日、関東臨床工学会会期中に会議を行う予定。

その他：

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 42 回 理事会

平成 27 年 1 月 8 日

出席理事：深町・田村・谷津・大谷・斉藤（勝）・高田・高橋・角田・中嶋・中西・松本・  
八木原

監事：高橋

委任：山根、花田、石井、影山、斉藤（孝）、中野、中山

欠席：

議事録

会長報告：

会長が本日欠席のため、事務局が代理で議題提示のみ。

**Study** メールの応募フォームについて。迷惑メール対策として。

賛助会員への勉強会等の案内について、今後無条件で当会ホームページに掲載か。

次期理事、部会メンバーの選出について。人員的に満たされれば、理事と部会長は別の人員で検討すべきか。

市民公開講座について。近々に組織検討委員会を開催予定。

大会長の公募について。応募が得られなかった場合、現理事から選出か。

CE の日に合わせた活動について。

託児ルーム設置に関して。

勉強会スタッフへの日当について。

Y・ボードの人選について。

日本高気圧環境潜水医学会について。

第 5 回関東臨床工学会の後援結果報告書について。

反省会兼慰労会について。

事務局報告：

日本臨床工学技士会より、「正会員名簿の不付き合い調査」の依頼あり。当会現状の名簿と照らし合わせを行ったところ、現在申請中の 2 名を除き日本臨床工学技士会に所属していない会員が 16 名見受けられた。この 16 名に関しては今月中に再確認を取る予定だが、日

本臨床工学技士会への入会は県技士会としては勧めていかなければならない。

また、本件とは別に3名が日本臨床工学技士会のID上、群馬県の会員扱いとなっているが、当会会員名簿に記載が無いことが判明した。

本年より、関東臨床工学会事務局が東京都へ移転した。現在も残りの引継ぎ作業を行っている。

関東臨床工学会での協賛企業に対しては、先日謝礼文を送付した。

全国の都道府県技士会並びに当会賛助会員、関連団体へ年賀状を送付した。

今月1月15日に、「国民医療を守る為の総決起大会」が東京都憲政会館にて開催されるため、会長と出席予定。また、18日に関東臨床工学技士協議会の第1回選挙対策委員会が東京都臨床工学技士会事務局にて開催されるため、出席予定。25日、新宿にて日本臨床工学技士連盟のオブザーバー出席を連盟理事長より依頼されたため出席予定。

日本臨床工学技士会より、たよりに掲載されているが、感動エピソード並びにロゴマークの募集が現在行われている。ロゴマークについては今月20日が締め切りとなっている。来月の理事会を祝日に予定してしまったため、一週間ずらして2月4日に開催予定。会場は未定。

12月に開催した3役会議にて、次期大会長は田村が担当することとなった。

#### 会計報告：

会費徴収が間に合わなかった方は、1月下旬に再度行う予定。

関東臨床工学会の会計報告は、現時点ではほぼ持ち出しとなる。

#### 大会報告：

会場はビエント高崎を予定。至誠堂の吉田氏がバックアップについてくれる。会場費は現時点で40～50万円。

招聘講演、教育講演、ランチョンセミナーについては現在候補を絞っている。今回は血液浄化分野のみではなく、循環器もしくは呼吸器分野も同時にポイント取得できるよう検討していきたい。認定看護師等のポイントも考えたが、当会理事に看護協会会員が在籍していないと取得は不可。

今月発送のたよりにて演題募集を行う予定。締め切りは3月末。

賛助会員への企業展示については、たよりと別今月もしくは来月初頭までに送付する予定。

セミナーについては別会場にて可能であれば3～4つ、初心者向けのもので検討中。

広報委員会：

新年号たよりを来週末に送付予定。

たよりを、今後は特急印刷から至誠堂へ変更予定。数百円だが安くなる。今後は印刷から発送まで依頼予定。

組織検討委員会：

特になし。

学術委員会：

特になし。

安全対策委員会：

1月25日に合同勉強会として、血液浄化セミナーを行う。

今後の活動内容について、これから再検討していきたい。

循環・呼吸部会：

12月7日にセミナーを開催した。参加者40名。今後の事業計画を行っている。

代謝・保守部会：

1月25日のセミナーに、本日時点で32名の応募があった。

Y・ボード：

来季に向けて、若手の人員を募集していきたい。

その他：

高気圧学会について、当会よりスタッフ選出を依頼。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 43 回 理事会

平成 27 年 2 月 4 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・大谷・景山・高田・中嶋・中野・中山・松本

監事：高橋

委任：石井、斉藤（孝）、斉藤（勝）、高橋、角田、中西、八木原

欠席：

議事録

会長報告：

2 月という事もあり、来年度の事をそろそろ検討する時期になった。理事部会とも益々発展していかなければならない。

来年度は理事改選となる為、選挙管理委員会を設置する必要がある。

賛助会員への勉強会等の情報をホームページへ掲載していただけるようになった件について、機器展示の案内と共に同封する。

次期理事、部会メンバーの選出については、立候補の状況を見て検討したい。

次期大会長の公募は、たより等で行う。

CE の日に合わせた活動として、5 月 31 日の総会後に検討したい。

Y・ボードの人選について、可能な限り 20 代で募集したい。

日本高気圧環境潜水医学会が 11 月に前橋で開催される。スタッフとして出れる方はお願いしたい。

関東臨床工学会の反省会兼慰労会について、予定通り 2 月 7 日に行う。

事務局報告：

1 月 15 日に東京憲政会館にて開催された、「国民医療を守る為の総決起大会」に会長と出席。関東の技士会より 15 名ほどが参加した。

1 月 18 日、関東臨床工学技士協議会の第 1 回選挙対策委員会会議が東京都臨床工学技士会事務局にて開催された。今回は各都県のメンバーの顔合わせが主であったが、今後は定期的に会議を重ねていく予定。関東臨床工学技士協議会における組織委員会であるとの印象を受けた。まずは、関東臨床工学技士協議会の内規を策定することを目標に活動を行うこ

となる。

1月25日、新宿農協会館にて日本臨床工学技士連盟理事会へ、連盟理事長より出席依頼を受けたため出席。理事会にて、現在空席となっている会計管理責任者へ選任される。

2月7日の関東臨床工学会の慰労会への出席状況は、現時点でスタッフ14名、企業10名となっている。未返答の企業もある為、開催までに再度確認予定。

栃木県臨床工学技士会の廣瀬会長より、3月か4月での北関東3県並びに福島県臨床工学技士会での懇談会を計画しているとの連絡があった。3役で日程が合えば、出席予定。

福島県臨床工学技士会の氏家会長より、平成28年度の日本臨床救急医学会開催のお知らせあり。臨床工学技士のセッションを企画しているが、日本臨床工学会と日程が重なっていることもあり、当会にも協力要請があった。

日本臨床工学技士会事務局が今月移転予定。お茶の水に変わらないが、聖橋寄りになった。

#### 会計報告：

年会費の引き落とし作業を行っている。先月27日に2回目の引き落としをかけた。賛助会員のうち7~8割は入金があった。

関東臨床工学会の未収金で、各県からの協賛金が茨城もしくは千葉県のもので未入金となっている。また、メーカーの未入金もある。このままの計上では持ち出しになる可能性が大きい。

#### 大会報告：

今月、機器展示の募集を行う。ポイント取得に際し、循環器もしくは呼吸器の分野での講演をしたい。

演題募集を先月送付したたよりにて行ったが、まだ応募は1演題のみ。今月半ばで同様であれば、再度アナウンスを行っていく。

セミナーについては別会場で、可能であれば3~4つ、初心者向けかつ体験型のものを模索中。

ランチョンセミナーに、バイオエレクトロニクスから協賛の申し出あり。

#### 広報委員会：

総会誌の原稿を、各委員会部会とも3月末までをお願いしたい。

組織検討委員会：

来年度の市民公開講座について、本日理事会終了後に会議を行いたい。

今回はより公益性のある内容としたい。

学術委員会：

今年度の勉強会はすべて終了した。

託児ルームやポイント取得については、今後も継続していく。

今は各部会長が計画を行っているが、各部会とも人員を増やしていきたい。

特に学術大会については学術委員がメインで活動し、大会長には極力負担をかけないようにしていきたい。そうでないと今後のやり手がなくなってしまう。

安全対策委員会：

1月25日に開催した安全管理セミナーを、日機装株式会社の講師に行っていただいた。

循環・呼吸部会：

特になし。

代謝・保守部会：

安全対策委員との合同セミナーの報告。

Y・ボード：

3月14日に定期の会議を日本臨床工学技士会事務局にて開催予定。

関東臨床工学会でのキッズセミナーの報告を行う予定。

その他：

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 44 回 理事会

平成 27 年 3 月 5 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・大谷・高田・高橋・中西・中野・中山・松本・  
八木原

監事：高橋

委任：石井、影山、斉藤（孝）、斉藤（勝）、角田、中嶋

欠席：

議事録

会長報告：

年度末の忙しい中での理事会出席ありがとうございます。

3 月 31 日をもって現職務は終える形となりますが、選挙、総会まではお願いします。

2 月 22 日、マネジメント学会に参加。他職種も含め技士会の会長職は幹事となっている。  
参加者は約 120～150 名。同日、群馬県透析懇話会に参加。技士会としても懇話会へ参入を  
とお話をいただいた。

2 月 7 日に関東臨床工学会の反省会兼慰労会を開催した。出席者は 30 名ほど。

事務局報告：

栃木県臨床工学技士会の廣瀬会長より、3 月か 4 月での北関東 3 県並びに福島県臨床工学技  
士会との災害対策協議会並びに懇談会の日程調整を依頼された。

日本臨床工学技士会統計調査委員会より、現在行われているアンケートの締め切りを 3 月 2  
日より一週間延ばしていると連絡あり。現在全国の回収率が 28%。理事の施設で未提出の  
方は最低限提出を。

次期理事選の返答がほぼ無いが、本日持参の方は提出をお願いしたい。

先月送付した郵送物の返却が 3 件あった。郵送先を再度確認予定。

総会関連で、委任状のハガキを現在作成中。総会誌に同封予定。

会計報告：

会費の徴収がまだ完全でない。今年度未収分は、来年度一括にしたい。  
賛助会員の未入金分は、年度内に督促を行う予定。  
今年度の決算報告の提出をお願いします。レシートの照合を間違えないように。  
来年度予算は現理事が管理するよう、くれぐれもお願いしたい。

大会報告：

機器展示の募集に際し、趣意書に不備が見つかった。賛助会員のメーカーより連絡を受けた場合は、事務局まで連絡をお願いしたい。

教育講演を依頼していた方が急遽都合により出られなくなってしまった。現在再調整を行っている。

ミニセミナーについては、本日学術委員と再検討したい。

ランチョンセミナーに予定されているバイオエレクトロニクスよりまだ連絡が来ない。

広報委員会：

総会誌に選挙管理委員会の項目をプラスする予定。

Y・ボードは、部会報告に組み込む。

組織検討委員会：

第6回総会は5月31日（日）とし、時間については本日決定したい。会場は前橋問屋センター会館。講演を依頼している日赤の堀江先生については、高田理事に連絡を取っていただく。今回の市民公開講座では、参加者増を目指したい。

学術委員会：

総会同日、呼吸部会と合同で市民公開講座を行うこととした。先ほどの話でも出たとおり、講師は前橋日赤の堀江先生。内容としては COPD のお話を予定している。ポイントについては、単発のセミナーのため取得不可。

Study メールのは、今後使用しないこととしたい。セミナーの応募に関しては、ホームページ上に応募フォームを作成してもらい、そこから応募できるようにする。

安全対策委員会：

総会同日に呼吸部会と合同で、医療ガス関連の講演を予定している。講師はタイヨーニッ

サン。ヒヤリハットから災害対策の話まで講演していただく予定。

循環・呼吸部会：

今年の年末に勉強会を予定している。

代謝・保守部会：

今年度の事業はすべて終了した。来年度もポイントを取得できるよう努める。

来年の年明けに勉強会を予定。

Y・ボード：

3月14日に定期の関東甲信越ハチドリネットワーク会議を日本臨床工学技士会事務局にて開催予定。関東臨床工学会でのキッズセミナーの報告を依頼されたため、報告予定。

新メンバーについて、理事関連施設の方で活動可能な方を急募。

その他：

メール便の件に関して、クロネコヤマトが新体制となる為、佐川急便等へも料金確認を。

総会誌への委任状のハガキについては、今月中に準備をお願いしたい。

選挙管理委員については、西片貝クリニックより住谷氏、大胡クリニックより今村氏、オブザーバーとして中西氏をお願いしたい。

ホームページの管理等について、阿部さんが埼玉県技士会へ移動するかもしれない。至誠堂へ管理を一括で依頼するか。

次年度から学術大会等のスタッフには日当を支給したい。詳細な内容については細則に追加する。